



福島の畜産業の復興を目指して

Purofile

所属：中央家畜保健衛生所 担当業務：高病原性鳥インフルエンザ検査業務
出身大学：酪農学園大学 防疫対策指導業務

仕事のやりがい

家畜の病気で困っている農家の方から相談を受け、検査を実施し、一緒に予防対策を考えて実行に移します。その結果、家畜が健康になり、生産性が向上し、生産者との信頼関係を築くことができた時にやりがいを感じます。

福島県は家畜の飼養頭数も比較的多く、牛、豚、鶏、馬、めん羊、山羊、蜜蜂等、幅広い家畜の様々な症例を経験する機会があり、日々充実して業務に取り組んでいます。

福島を選んだ理由

大学生の時、東日本大震災をきっかけに将来は地元の畜産に貢献したいという強い希望がありました。実際に県職員になって感じたことは、復興は進んでいるものの、農産物が買い控えや安値で取引されているなどまだ風評を耳にすることです。

今後も特定家畜伝染病の防疫対策や飼養衛生管理の指導等の業務を通じて、福島県の畜産物の安全性を確保し、正確な情報を発信し続けることで、畜産業の復興に尽力していきたいと考えています。

わたしの休日

福島県はおいしい食べ物と日本酒、豊かな自然が沢山あります。私は緑の中にいると、とても気分が落ち着くので休日は山の散策や、キャンプをして過ごしています。冬は、温泉巡りをして日々の疲れを癒やしています。

ある日のわたし

- 6:30 起床、朝食
- 8:15 出勤（通勤40分）
- 8:30 始業、メールチェック
- 8:40 職場ミーティング
- 9:00 養豚場訪問（出張）
- 12:00 昼食
- 13:00 血液検査
- 15:00 事務処理
- 16:30 メールチェック
- 16:50 農家訪問調整
- 17:15 終業
- 18:00 買い物、スポーツジム
- 19:30 夕食後、動画鑑賞
- 22:30 就寝

